



SANUMA

VOL46

週報

佐沼ロータリークラブ



例会場 サンシャインプラザ21 ☎22-8988
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 サンシャインプラザ21 ☎22-8988

(2009~2010年度)

会長 二階堂 學
幹事 菅原文之
会報 氏家良典 秀義 弥子
小竹秀敏 富士原 裕

第2233回例会 2009. 11. 26 No.19

本日の出席率

- ・本日の出席率 71%
- ・前回確定出席率 76%

ニコニコボックス

- ・二階堂學会長 大船渡西ロータリークラブの創立40周年記念式典へ3名で出席しました。ご苦労様でした。本日のスピーチ、伊藤俊郎会員です。よろしくお祈りします。
- ・阿部泰彦会員 伊藤俊郎会員、最高裁判所長官受賞おめでとうございます。
- ・菅野幸一郎会員 11月18日、東京で開催されましたロータリー研究会に参加して参りました。RI会長のケリーさんご夫妻の歓迎晩餐会が開催されました。本日の伊藤俊郎会員のスピーチにご期待申し上げます。
- ・伊藤俊郎会員 宮崎裕会員のピンチヒッターで、プログラム委員長として責任を取り、スピーチを致します。
- ・飯塚仁哉会員 伊藤俊郎会員の補導委託による善行者として表彰されたことに、大いなる喜びを感じる1人です。
- ・布施孝之会員 スピーカー、ピンチヒッターの伊藤俊郎会員のスピーチを楽しみに。
- ・富士原裕子会員 ピンチヒッターのスピーカー、伊藤俊郎会員ご苦労様です。とても楽しみにしております。
- ・鈴木彦太会員以下 伊藤俊郎会員のスピーチに期待して。
村上武彦会員 佐々木崇会員 高田次雄会員
山田直志会員 阿部賢悟会員 佐々木源悦会員
岩淵正彦会員 熊谷敏明会員 佐々木功一会員
高橋利光会員 二階堂敏雄会員 武川 毅会員
小野寺伸浩会員 只野佳旦会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 二階堂學会長

11月22日(日)、大船渡西ロータリークラブの創立40周年記念式典に、菅野幸一郎ガバナー補佐、菅原文之幹事と一緒に出席して参りました。式典のあと、韓国人の全龍福^{チョンヨンボク}氏の記念講演がありました。全さんは、漆美術に携る方で、岩山漆芸美術館長ということで岩手県に現在住んでおられます。その前は、目黒雅叙園漆研究所所長として就任されておりました。

漆の研究をしていると色々良い面が出てくるのですね。漆という使っていて、熱を伝えにくい、ようするにすぐに熱くならない、湿気に強い等、漆の良さを知ってきた。やはり、自然の色の美しさに魅せられて漆で絵を描いた。普通はおわん等に塗るのですが、大きな絵として作り上げた。そういった作品の展示を行ってきたということです。

今月は、ロータリー財団の月間です。財団プログラムには、教育的プログラム、人道的プログラム、ポリオプラス・プログラムの三つのプログラムがあります。寄付には、年次寄付、恒久基金寄付、ポリオプラスがあります。

年次寄付は、3年後にしか使わない、定期預金のようなものです。恒久基金寄付は、元金はそのままにしておいて利息だけを使うというものです。ポリオプラスは、いつでも出し入れが行われるものです。日本は、15億円位集める訳ですが、その使いみちは、1/2は国際財団活動に、1/2は地区の財団にと大まかに分けてあり、当クラブでも、この地区補助金に環境保全委員会で申請し、補助金で植樹活動をしております。

財団に関しましては、細かいことは我々には分かりませんので、次週12月3日(木)の例会時に、年次寄付・恒久基金小委員会の大島達治委員長(仙台RC)のお話をいただくことになっております。よろしくお祈り致します。

会報委員会のことですが、秀義弥会員の退会により、副委員長のポストが空きましたので、同じ委員会メンバーの富士原裕子会員を副委員長と致しました。ご報告いたします。

幹事報告 菅原文之幹事

・東日観光より 「国際ロータリー年次大会」参加旅行の案内がきています。

2010年6月20日~6月23日、モントリオール

各委員会報告

・姉妹クラブ委員会 (江川元徳委員長)

山田直志会員が会長の時に植樹しました桜が大きくなり、毎年花が咲いていますが、当クラブからは誰も見に行った人がいません。桜の一番きれいに咲く頃お花見に行きたいと思っておりますが、諸行事の関係上、1月の終り頃に予定しています。4泊5日で7万円という手頃なコースがありますので、多くの参加をお待ちしております。詳細は後程。

今週のスピーチ

「補導委託制度について」 伊藤俊郎会員

補導委託制度については、私も知らなかったのですが、今から21年前、東京から来た子供がおりまして、使って下さいということでしたので、私は「来る者は拒まず、去る者は追わず」という精神で、その子供を預かった訳ですが、20日位たった頃、登米署から電話があり「こういう子供がいませんか」ということでしたので「います」と言ったら、即、逮捕ということで連れて行かれました。警察にもう少しくらい心あってもよいのではという思いをしました。

鑑別所に逮捕されていくのですが、そこで4週間拘束され、そこから少年院にやるか、社会復帰かということになります。その子供は身寄りがないものですから、どうしても「若鯨」に行きたいと言ったそうです。裁判官から電話があり「こういう制度があるのですが、もう一度使ってもらえないか」、監察つきですから心配はない、もし、いらなければすぐにやめさせてもよいという話があり、その時、はじめてこの制度のことを知りました。働いた分だけの給料は少しですが出るのですね。この様な制度があるのだったら、人のために役に立つことをしていったら得をするのではないかと思い、その話を受けました。そういった子供は、管理体制を良くしておけば、非常に愚痴も言わない子供達です。「給料を上げる」「仕事がつい」といったことは全く口に出しません。自分が悪いことをしたという自覚を持っていますので、ほとんどそういうことは言いません。使う方も、国からお金を頂きますから管理をして、ちゃんと愛情をかけ、働いていただければいい。1から10までの仕事の課程があったとした

ら、1から5までの仕事をやっていただいたら、ありがたいと思うように、トップの人を指導しました。5までの課程をしてもらえれば、他の仕事ができる訳ですから、当時は、そういった使い方をしました。

今日まで、24~25名の子供を扱ったのですが、決して100%更正されたということではございませんが、ある期間、最低4ヶ月間住み込みで面倒を見るというのが通常ですが、人間は4ヶ月間で直る訳がないということで、色々裁判官に提言してきました。やはり、「石の上にも3年」という言葉もあります。大体3年位拘束していただいて、3年間の中でしっかりと自分の定職をもって社会復帰というふうな方向までできました。

今の社会は、高校を卒業しなければ、会社に行っても就職試験は受けられません。そういった子供達は中学卒で終わっている訳ですから行き場所がありません。そのため必ず又、悪さをするのです。悪さを続ければ少年院行きとなります。

今、少年鑑別所に行っている子供が一人来ております。この子供がその様なことを起こしているかと言いますと、人間にはマイナスな意識分野があり、3歳から小学校6年生あたりまでに培うマイナスな意識分野を心に入れております。それを一番最初に取り入れなければ、その子供の指導は出来ないと考えております。その子供は、お姉ちゃんがいて、本人がいて、妹がいるのです。その妹は未熟児で生まれたためにお姉ちゃんと本人は各実家に預けられました。どうしても男の子はお母ちゃんのおっぱいにすがりたいという思いがあり、そういった時期に、どうして妹だけが母親の愛情をもらうのかという観念が強くて、どっちかというあまえない性格の子です。その子供が、何回も悪いことをするのは。うちに来た時に、どの様にしたらその子供を自立させるかといったときに、両親に電話をしたら、父親は「息子の話は信用出来ない」と言うのです。そこで、一度父親にうちに来てもらうことになり、昨年の11月頃でしたので、手にいっぱいひびをきらせ、その手を父親に見せました。その姿を見て、父親は息子に「お前仕事をやっているのだな」と言いました。その言葉で、その子は父親に認められたということで、非常に感謝しており、今、審判の下りるのを待っているところです。

こういった子供達は、体で覚えてきていますので必ず悪さをするということが共通してあります。自分の場合は、調査官が連れてきたとき必ずこういう叱り方をします。「お前みたいな者は、いらぬ存在だ。」そうしますとガクッときますが、「そのお前の面倒を見るのは俺だ」と言い、採用したら過去の事には一切触れないから安心して仕事するように言い、従業員達にもその事を伝えます。その様な指導をします。

一紙面の都合上、以下割愛させていただきます。-